

第 77 回 教育研究評議会議事要旨

日 時 令和 5 年 11 月 22 日（水）13：30～17：04

場 所 高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室 + ウェブ（Zoom）併用

出 席 者

【構成員】 山内議長、足立評議員、内丸評議員、岡田評議員、幅評議員、高橋評議員、
雨宮評議員、大井川評議員、加藤評議員、河村評議員、久世評議員、小杉評議員、
小関評議員、小林評議員、齊藤評議員、菅原評議員、飛山評議員、中野評議員、
中畑評議員、波戸評議員、花垣評議員、廣井評議員、福村評議員、真鍋評議員

【オブザーバー】 浅井機構長補佐、羽澄量子場計測システム国際拠点長、住吉監事、辻監事、
五味田総務部長、山崎財務部長、永木研究協力部長、外山施設部長、幸田参事役、
柴沼参事役、坪監査室長、櫻井人事担当課長、永見財務企画課長、岡田研究協力課長、
佐藤施設企画課長、柴原東海管理課長、丹生国際企画課長

配付資料

1. 第 75 回及び第 76 回教育研究評議会議事要録
2. 第 8 期教育研究評議会の評議員について
3. 人事異動
4. 高エネルギー加速器研究機構における教育体制等について

別途配信資料

1. 次期所長・施設長の選考について

議 事

1. 次期機構長候補者について

山内議長から、浅井 祥二 氏（東京大学大学院理学系研究科・教授 東京大学素粒子物理国際研究センター・センター長兼任）を次期機構長候補者として決定したとの報告があり、本日の会議にオブザーバーとして出席している旨の紹介があった。

2. 第 75 回及び第 76 回議事要録について

山内議長から、資料 1 の議事要録は事前に確認済みであり、確定版を配付している旨の説明があった。

3. 審議

(1) 次期所長・施設長の選考について【クローズド審議】

山内議長から、別途配信資料に基づき説明があった。その後、各運営会議議長から候補者選考経緯の説明があり、続いて、次期所長・施設長の各候補者から選出されるにあたっての抱負が述べられ、質疑応答を行った。

投票による選考を行った結果、次期素粒子原子核研究所長、次期加速器研究施設長及び次期共通基盤研究施設長が選考された。なお、物質構造科学研究所長については、物質構造科学研究所運営会議に次期所長候補の再検討を依頼することとなった。

(2) 第8期教育研究評議会の評議員について

山内議長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

4. 報告

(1) 人事異動

山内議長から、資料3に基づき報告があった。

(2) 高エネルギー加速器研究機構における教育体制等について

岡田評議員から、資料4に基づき報告があった。

4. 研究活動報告

(1) 齊藤評議員（素粒子原子核研究所長）から、素粒子原子核研究所の研究活動状況について報告があった。

<主な質疑・意見>

・設備の維持管理や老朽化対策にかかる予算が不十分であり、現場の努力だけで対処することは困難なため、予算の出し方を変える必要があるのではないか。先端的な設備を多く保有し長年整備している KEK が、率先して文科省へ設備の維持管理のための予算の必要性を訴えることで、全国の小規模設備及び中規模設備の維持にも寄与するのではないか。

→文科省にも伝え、一定の理解を得られていると思料する。また、予算については組織内部での整理が重要であり、そのためのワークショップを含め取り組みを進めている。

→設備の老朽化対策を軽視していたわけでは決していないが、実験の継続に重きを置かざるを得なかった。今後、手を打っていくことを検討している。

6. その他

山内議長から、閉会の挨拶があった。また、2月に臨時の評議会開催を予定しているとの案内があり、閉会した。

以 上